**第２時　「学校や地域でのけがの防止」**

1. ねらい

・学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険を予測し、正しい判断のもとに安全な行動をすること、安全な環境をつくることが必要であることを、理解できるようにする。【知識・技能】

・自己のけがに関する経験を振り返り、危険の予測や安全な行動を考え、説明したり表現したりできるようにする。【思考・判断・表現】

・学校や地域でのけがの防止について、自己の生活を振り返ったり、危険の予測や安全な行動を考えたりするなど、進んで学習に取り組むことができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】

学習課題１　どうしてこの場所でけがが起こったのだろう？

どうしたら、けがを防げたのだろう？

学習課題２　あの時こんな行動をとっていれば良かったな。

　　　　　　　　　　どの場所でも気を付けることは同じかな？

学習課題３　これからは、このような行動をしよう。

1. 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 〇教師のかかわり◎配慮児童への支援 | □評価 |
| ※第1時で学習したことを基に、自分がけがをしたことのある場所や、けがの起こりやすそうな場所を事前に撮影する。１　前時の学習を振り返る。２　自分たちの撮った場所でなぜけがが発生したのか、原因をグループでまとめる。（５分程度）　　それぞれのグループが撮影した場所と原因を全体で共有する。　Ｔ　この中で一番けがの多い場所は校庭です。　　　校庭とは、何をすることの多い場所でしょうか？　・校庭はどのような場所、何をする場所であるかを考え、けがの発生しやすい場所の一つであることを確認する。３　教師が撮影した場所を見て、危険を予測し、安全な行動を考える。　Ｔ　実は、こんな場所でもけがが起きています。　Ｃ　どうしてここでけがが起きたのだろう。確かに教室でけがをしたことがある。Ｔ　教室は何をすることの多い場所ですか？　Ｃ　授業をする場所だな。　　　さっきの校庭とは全然違う。行動を変えればけがを防げるのではないか。・どのような危険があるかを予測する。・自分の行動をふり返る時間を確保する。　・自分だったらどんな正しい判断と安全な行動をとるかを考える。　・全体で共有する。　・校内だけでなく、地域でもけがが発生することから、地域でも安全な行動をすることが大切であると確認する。４　普段の自分の行動を振り返り、けがを防止するためにできることを考える。　Ｔ　いろいろな場所でけがを防ぐための行動を考えたけど、普段の自分の行動を振り返ると、どうですか？５　危険を防ぐために学校や地域でも安全な環境づくりが行われていることを知る。　６　地域では、けがだけでなく交通事故も起こりうることから、次時の見通しをもつ。　 | ◎現在けがをしている児童への配慮○前時で学習したキーワードを黒板に掲示する。○事前に撮った写真を印刷しておく。○普段校庭では何をするか想起させ、けがの発生しやすい場面が多いことをおさえる。○事前に、児童にとって意外性のある場所（例えば教室）の写真を準備しておく。○写真を基に正しい判断や安全な行動を考えられるよう言葉掛けをする。○普段から心の状態を整えておくことも大切であると補足する。○ヒヤリハット地図の活　用○通学路の写真を準備○身近なところでは、どのような安全な環境づくりが行われているか写真を提示する。 |  |

「けがの防止」学習カード②　　　　　５年　　組　　名前

|  |  |
| --- | --- |
| 　/　　（　　） | 学校や地域でのけがの防止 |

１

|  |  |
| --- | --- |
| 写真を撮った場所 |  |
| けがの起こる原因 |
| 【人の行動】 | 【周りの環境】 |

２　写真を見て、考えましょう。

|  |  |
| --- | --- |
| 危険の予測 | 安全な行動 |
|  |  |

３　自分の生活を振り返り、けがを防止するために、どのようなことに気をつけますか。

|  |
| --- |
|  |

４　今日の学習を振り返り、わかったこととこれから生かしたいことを書きましょう。